

2010.04.04 (sun) 11:00-12:00

# 旧東京第一陸軍造兵廠本部と 軍都の桜



© Ryoukitansa Design

## 撮影企画

旧東京第一陸軍造兵廠本部の屋上から、景勝地≠軍都王子の桜を俯瞰する。

## コンセプト

飛鳥山に音無川。江戸の昔から桜の名所であった「景勝地王子」は、それと同時に広大な軍用地を有した「軍都」としての顔を持っていた。一方、桜もまた軍用地に戦略的に植えられた過去がある。深く散る「死」の覚悟を意味して軍歌に歌い、戦時中の国家が一体となる為に。「中央公園文化センター」の一角はかつての軍用地で、この白亜の建物は昭和5年に陸軍の兵器工場本部として建てられた。第二次大戦の空襲をも耐え抜いたが、戦後は米軍に接収されて米陸軍技術情報センター、米軍地図局となる。その後接収地の一部が野戦病院の候補地となったことを契機に住民の返還運動が激化、10年の歳月を要して昭和46年、「キャンプ王子」は日本に返還された。時は流れてその場所は、桜並木のマラソンコースや野球場を備えた中央公園と、北区民の生涯学習施設として有効利用されている。接収時に白く塗られた外壁は、茶色の煉瓦タイル貼りだったという。今回の目的は、竣工当時の素の建築が残されている3階倉庫の撮影と、屋上からかつて見えていたかもしれない桜の風景の断片を確かめてみることだ。高層化した建物に刻まれながら、何か痕跡を探せるだろうか。(企画者/新藤)

## 物件データ

## 旧東京第一陸軍造兵廠本部

<http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/003/000391.htm>

所在地：東京都北区十条台1-2-1 北区立中央公園文化センター  
 竣工：1930年（昭和5）  
 設計：旧日本軍（業者記載なし）  
 施工：同上  
 構造：RC3階建・地下1階  
 外装：煉瓦タイル貼り→接収時に白塗装  
 特徴：ロンバルディアバンド装飾  
 用途：軍兵器工場本部→戦後GHQに接収  
 変遷：米陸軍技術情報センター→米軍地図局→生涯学習施設  
 規模：公園敷地面積 65,620㎡（北区最大）



## ロケーション

領域探査  
デザイン

中古スケルトン賃貸普及プロジェクト



企画/領域探査デザイン [www.ryookitansa.com](http://www.ryookitansa.com)  
 目黒区目黒2-11-14 大鳥ビル53号  
 tel/fax 03-6662-5350  
[shindo@ryookitansa.com](mailto:shindo@ryookitansa.com)

2010.04.04